

## 『自己肯定感への一歩』

～在校生が考える人との関わり方～



今年度のピンクシャツプログラムとして、本校教員の町矢真美先生と、在校生8名で立ち上げた『庭和』サークルによる2時間の講演会プログラムを行います。

今回は「多様性の受容と尊重」といったテーマで、それぞれの生きづらさや、困難さを持った中での人との関わり方を題材に、自分や相手を大切にすることについて考えます。

『庭和』サークルのメンバーを中心に自身の体験談も聞きながら、自分自身もふりかえてみましょう。保護者の方も参加可能です。是非ご参加ください。（※特別活動2時間認定です）

<日時> 2月25日（木）10：30～12：30

<参加方法> zoom または学校会場参加 ※希望者には後日配信も行います

【在校生の方】

zoom 参加の方は当日までにさくら連絡網にて参加 URL をお伝えします

【保護者・外部の方】

zoom 参加の方は申込フォームにていただいたメールアドレス宛に当日の URL をお伝えします

<申込方法> 裏面記載の参加申込み QR コードを読み取り、回答フォームにてご予約ください

※在校生の方への注意事項※

参加者は当日までに職員室にてワークシートを受け取ってください

またはさくら連絡網で配信している案内の添付データをダウンロードしてください

後日提出することで特別活動2時間認定となります

## ピンクシャツデイとは？

2007年カナダの二人の学生から瞬く間に世界中に広まった世界的いじめ反対運動。ピンクのシャツを着て登校した少年が「ゲイ」だといじめられた。それを見た二人の学生が50枚のピンクのシャツを友人・知人に配り翌日登校した。学校では呼び掛けに賛同した多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなった。そのエピソードがSNS等で世界中に広まり現在では70カ国以上の国で活動が行われている。カナダでは毎年2月最終水曜日がPINK SHIRT DAYとして定められている。

## YMCA 学院高等学校 サークル『<sup>にわ</sup>庭和』

私たちは、不登校を経験していたり、今も理解されにくい障害を抱えながら日々を過ごしています。

高校に入り、幸いに仲間と出会え、同じ辛さであることを共有できたり、理解してもらえることで、ようやく自分らしさをもてるようになりました。

自分たちそれぞれが今まで生きづらさと闘ってきて、一人で立ち向かうのは、とても孤独で、大変辛いことを感じてきたので、他の同じように悩む人の役に立つことがしたい、そんな思いで私たちは、8人のメンバーで立ち上がりました。

両親でも、先生方でもない立ち位置で、同じ悩みを抱える私たちだからできることを、見つけていきたいと思っています。



「庭和」サークルメンバーの体験談を聞いて



〈大阪YMCAピンクシャツデイの詳細ページ〉



〈参加申込みフォーム〉

**#YMCAPINK**

YMCA 学院高等学校 543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町 1-3  
TEL：06-6779-5690 担当者：藤原 坂井